陸上自衛隊第14旅団広報誌

しこく

Vol. 195
2025. 4-5

今号の内容

01　第14旅団創隊19周年及び善通寺駐屯地開設75周年記念行事
02　愛媛県今治市山林火災に伴う災害派遣
03　各部隊投稿
04　隊員家族投稿（第14偵察隊）
05　キーパーソン（第14施設隊）

第14旅団（旅団長　仲西勝典　陸将補）は、4月27日、善通寺駐屯地において「第14旅団創隊19周年及び善通寺駐屯地開設75周年記念行事」を開催しました。

仲西旅団長は観閲式で「我々の原点『事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務める』に立ち返り、国民の負託に応えるべく誠心誠意、全力で職務に邁進していく」と述べました。

当日は、約27,000人が来場し、改めて多くの方々に支えられていることを実感した記念行事となりました。

第14旅団創隊
善通寺駐屯地開設

オートバイドリル
女性自衛官が初抜擢！

模擬戦闘訓練展示
最新の装備を駆使した迫力満点の演出！

前日のブルーインパルス展示飛行予行では
善通寺市に大きなハートを届けてくれました

6年ぶりの市中観閲行進復活！

19年ぶりとなるブルーインパルス展示飛行は、残念ながら善通寺上空での飛行は中止となりましたが、6年ぶりの市中観閲行進では、多くの観客の皆様から温かい声援を受けながら堂々たる行進を披露し、会場はたくさんの元気と熱気に包まれていました。

19周年及び 75周年記念行事

ロープ渡りに挑戦！

自衛隊の装備品すごい✨

挑　戦
～羽ばたく未来へ～

今年は「挑戦～羽ばたく未来へ～」をテーマに掲げ、常に変化する情勢や任務に柔軟に対応し、新しいことに挑戦し続ける旅団を表現しました。
引き続き、第14旅団・善通寺駐屯地は、さらなる高みを目指して未来に向けて大きく飛躍していきます。

愛媛県今治市山林火災に伴う災害派遣

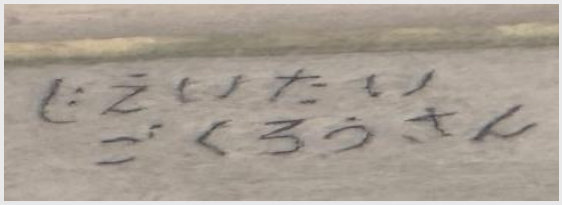
令和7年3月23日16時ごろ、愛媛県今治市にて発生した山林火災に対し、第14旅団は災害派遣活動を実施しました。旅団は速やかに愛媛県庁や今治市役所等に連絡員を派遣し、消防や自治体と連携し綿密な調整を行い、鎮圧が確認された3月31日までの間、空中から継続的な消火活動を実施しました。 第14飛行隊の他、中部方面航空隊、第1ヘリコプター団、西部方面航空隊、航空自衛隊からも支援を受け懸命な消火活動が実施されました。

【仲西旅団長への状況報告】

【上空から撮影した散水の様子】

飛行隊の隊員たちは、日中の消火活動だけではなく、夜間にも翌日の活動に備え、航空機の整備作業を行い、早期鎮圧を目標とした継続的な消火活動を行いました。

第14後方支援隊は、現地で活動にあたる隊員の生活支援活動を実施しました。洗濯・入浴・給食支援を行い、隊員の士気を高め、災害派遣活動を支える大きな力になりました。



【地上から上空へ届いたエール】

災害派遣終了後、西条市より御礼と労いのお言葉をいただき、愛媛県知事より感謝状の贈呈を受けました。引き続き、国民の生命・財産を守るため、迅速な対応に努めてまいります。

新たな挑戦

第１４旅団司令部付隊（隊長 玉置徳和 ３等陸佐）は４月上旬、令和７年度における教育訓練をどのように実施するかの全般的な事項を隊員に伝達しました。

「自ら考え行動できる想像力豊かな隊員」の育成を図るため、個人として射撃・格闘・衛生救護等の能力を向上させるとともに、部隊として射撃訓練や作戦行動等について練度を積み上げ、任務達成に必要な能力を着実に向上させて行くことを説明しました。

「これで任務を達成できるのか」を判断基準として、平素から旅団司令部を支える部隊として隊員１人１人が多様かつ重要な任務を担っていることから、日頃の業務と教育訓練との両立するために「すべては実任務のために」「厳しいことを楽しくやる」を合言葉に、更なる練度向上に努め、挑戦していきます。

音楽の力で笑顔と感動を　第76回丸亀お城まつり

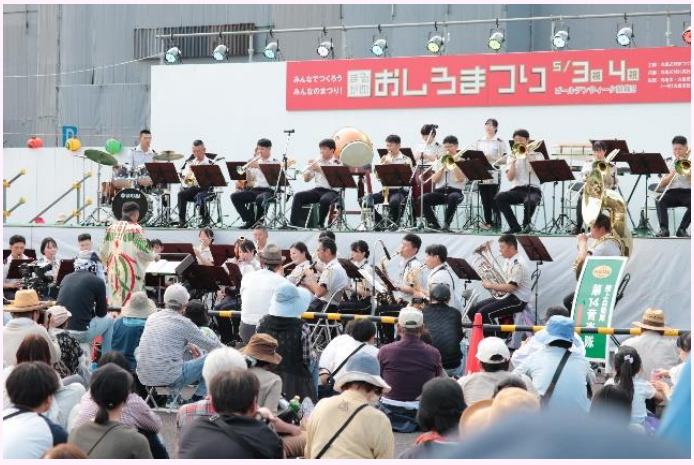
第１４音楽隊（隊長 平林誠 １等陸尉）は、５月３日、晴天に恵まれた丸亀市内で開催された「第７６回丸亀お城まつり」において来場者を魅了する演奏を披露しました。

【丸亀城前の道路で行われたパレード演奏】

行進曲「瀬戸の花嫁」と「国民の象徴」が街中に力強く響き渡りました。

緒方綾夏 ２等陸曹と大西美穂 ２等陸曹によるデュエット「ライオン」では、力強く情熱的な歌唱に会場は大いに盛り上がり、隊員によるオリジナルアレンジ「ふるさと」では、自然と手拍子が沸き起こり、観客との一体感が高まりました。「トワイライト・イン・アッパーウエスト」では、しっとりとしたトランペットソロが青空の下に響き渡りました。

観客からは自然と手拍子や口ずさむ声があがり、演奏を通して隊員と観客が一つになったような温かい雰囲気に包まれました。また、地元高校生による吹奏楽演奏なども行われた本イベントにおいて、第14音楽隊のステージは確かな存在感を放ち、まつりの盛り上がりに大きく貢献しました。



【特設ステージでの演奏】

多くの家族連れや音楽ファンが詰めかけ、吹奏楽オリジナル曲「Breezin‘」で幕を開け、「シティ・ポップ・メドレー」のリズムに乗って楽しむ様子が見られました。

NHKドラマのオープニング曲「賜物」や「ソーラン・ファンク」などバラエティ豊かなプログラムが続き、アンコールにはスティーヴィー・ワンダーの「サー・デューク」で華やかに締めくくられました。

常在戦場　連隊野営

第５０普通科連隊（連隊長 水関謙作 １等陸佐）は、日本原演習場（岡山県）において、５月中旬、連隊野営において中隊検閲を実施し、防御任務の状況下での戦術行動と射撃を合せた実戦的な戦闘射撃等の訓練を通じ、各隊員は与えられた任務を遂行するための練度の向上を図りました。

【戦闘行動における実弾射撃の様子】

【防御戦闘中の隊員】

夏本番に向けて！　暑熱順化訓練

第１４特殊武器防護隊（隊長 松田秀司 ３等陸佐）は、５月、新緑のあいば野演習場（滋賀県）において、練成訓練及び小隊検閲を実施しました。本訓練は、今年度の旅団検閲に向けた訓練であり、４月上旬に初級化学特技を付与された新隊員２名が初めて訓練に参加しました。

また、暑熱順化訓練を実施し、隊員の暑熱耐性を強化し、酷暑時の任務遂行能力の向上を図るとともに、隊員の連携、任務達成に必要な体力を向上させました。

【暑熱順化訓練の様子】

⚙ 暑熱順化とは ⚙

身体を暑さに慣れさせ、熱中症のリスクを低減させる為に、夏本番前から発汗機能を向上させる熱中症予防トレーニングのひとつです。

特殊武器防護隊は、完全密封の防護衣を装着したまま任務を行うことが基本のため、特に熱中症には注意をしています。

任務完遂の礎　練成訓練

第１４後方支援隊（隊長 渡邊修 １等陸佐）は、４月上旬、原村演習場（広島県）において練成訓練を実施しました。主に、部隊の基本行動である部隊移動や警戒自衛戦闘のほか、隊員の基礎動作である退避壕の構築を練成しました。

無意識のうちに疎かになってしまう「基本・基礎」こそ、任務遂行に重要な行動であることを再認識しました。

【警戒自衛戦闘】

【退避壕の構築】

対空戦闘の即応力　練成訓練

第１４高射特科隊（隊長 渡辺大嗣 ２等陸佐）は、５月中旬、小野演習場（愛媛県）において旅団演習に向けた準備訓練として野外行動訓練を実施しました。
主に作戦準備段階における、指揮官の指揮、部隊の基本的行動及び隊員の基礎動作を演練し、作戦運用能力（任務を計画・実行する力）の向上を図る目的で実施しました。

【対空戦闘予行】（写真上）

対空戦闘指揮所及び対空戦調整所を開設・維持・運営し、状況下での一連の指揮幕僚活動を演練するとともに、対空戦闘指揮統制システムを使用して対空戦闘予行を実施しました。

前回の不備内容について是正訓練を実施し、偽装等の練度を向上させました。

また、新たに装備された１８式個人用防護装備の使用要領及び基本的な着脱要領について演練を実施し、早期戦力化を図りました。

【陣地の占領】（写真下）

基盤強化　練成訓練

第１４飛行隊（隊長 桑原正之 １等陸佐）は５月中旬、日本原演習場（岡山県）において練成訓練及びＵＨ－１Ｊによるドアガン射撃を実施しました。５月中旬とは思えない暑さの中、先行部隊による偵察から主力の誘導を実施した後、陣地基盤を開設して、事態対処能力の向上を図りました

【先行部隊に対する命令下達】【化学防護衣を装着しての警戒】　【夜間着陸時の誘導】

【UH-1Jによるドアガン射撃訓練】

飛行隊の隊員に加えて、第１５即応機動連隊及び第５０普通科連隊の隊員が参加し、射撃要員の拡充・能力向上を図りました。

予期せぬ事態に備えて　練成訓練

第１４情報隊（隊長 濱田安彦 ２等陸佐）は、４月上旬、日本原演習場（岡山県）において練成訓練を行いました。

今回の訓練は、部隊が陣地に進入した際に、車両等の暴露を最小限にするために実施する「隠蔽」「偽装」等を練成しました。

また、陣地内に敵が侵入してきた事を想定した対処訓練（警戒自衛戦闘）を行い、警戒・戦闘から捕獲まで一連の動作を確認しました。

【通信アンテナの建柱】

【林内における偽装】

【警戒自衛戦闘】

百発百中　RCV機関砲射撃

第１４偵察隊（隊長 神品秀雄 ２等陸佐）は、３月下旬、日本原演習場（岡山県）において、射撃練度の向上を目的として、８７式偵察警戒車（ＲＣＶ）機関砲射撃を行いました。

定期異動等の時期と重なり、多忙な日々が続く中、業務の合間や課業外等、寸暇を惜しまず射撃予習を行いました。

射撃訓練当日、天候は晴れていたものの、やや強風であったため、不安な表情を見せる隊員もいましたが、いざ射撃が始まると現場の雰囲気は一変し、緊迫した空気が漂いました。ＲＣＶから繰り出される弾は、遠く離れた位置の標的に吸い込まれるが如く命中し、標的は木っ端みじんになりました。

射撃予習で積み重ねた技術と冷静な判断力により、全員所望の成果を得て、機関砲射撃を終えることができました。

引き続き、更なる高みを目指して、ＲＣＶを自身の手足のごとく操作できるよう、限られた時間を最大限に活用して日々練成を重ねて、任務に邁進していきます。

【狙いを定めるRCV】

【弾が命中した標的】

リアルを求めて　教育訓練基盤構築

第５０普通科連隊（連隊長 水関謙作 １等陸佐）は、日本原演習場（岡山県）において、４月中旬、第１次教育訓練基盤構築に参加しました。より実戦的な訓練ができる演習場の構築を実施し、長期にわたり使用できるよう演習場の機能向上・維持に努めました。

【伐採した草集め】

【停弾提の廃弾回収の様子】

第１４施設隊（隊長 山北幸太郎 ２等陸佐）は４月中旬、日本原演習場（岡山県）において「令和７年度第１次教育訓練基盤構築」に参加し、主に「停弾提整備・演習場内の伐木作業・幹線道路の整備」を任務とし、整備を実施しました。

第１４旅団整備隊長の要望事項「教育訓練基盤構築の趣旨を理解せよ」「確実に管理せよ」の２点を追求するために、寒さと降雨の続く厳しい環境下においても各種施設器材を駆使し、演習場の運用構想に合った整備を実施して、リアルな環境の維持に努めました。

【優秀隊員として表彰された３名】

日本原整備隊	優秀隊員	中央（妹尾紘希 陸士長）
第１４旅団整備隊	優秀隊員	左　（松原利和 ３等陸曹）
		右　（山中愛大 ３等陸曹）

【斜面成形をするロングアーム】

【伐木作業をするグラップル】

【幹線道路の整備をするグレーダ】

陸士から陸曹へ　履修前教育

第１４通信隊（隊長 脇田祐一郎 ２等陸佐）は、４月上旬から約３週間、善通寺駐屯地、国分台演習場（香川県）及び大麻山において、第１４通信隊、第１４情報隊並びに第１４音楽隊の陸曹候補生課程入校予定者１１名に対する「履修前教育」を実施しました。

この教育は、初級陸曹として必要な資質を養い、隊員の能力・特性を踏まえた共通的な事項を重視して、入校間必要な基礎的知識及び技能を修得するための教育です。

【総合訓練「攻撃」の様子】
分隊長として隊員を指揮しながら目標を奪取しました。

【大麻山での徒歩行進の様子】
約30ｋｇの背嚢を背負い、同期の背中を押し合いながら目的地を目指し、11人全員が完歩しました。

新たな一歩　自衛官候補生課程

第１５即応機動連隊（連隊長 柿内慎治 １等陸佐）は、４月５日、善通寺駐屯地において６６名の自衛官候補生の入隊式を挙行しました。入隊式において連隊長は「このような厳しい情勢の中、国を護るという崇高な使命を担う自衛官としての道を選択し、入隊を決意した諸官に対し、深甚なる敬意を表する」と激励の言葉を述べました。

６月下旬の修了に向け、約３ケ月間、自衛官として必要な教育訓練に専念し、自衛隊の規則、礼式や基本的な技能等を学んでいます。

【催涙ガス体験】

【１０ｋｍ行進】

【入隊式の様子】

【体力検定】

【装備品研修】

【戦闘射撃シミュレーター（GCSS）射撃訓練】

隊員投稿

がんばれパパ

第14偵察隊　３等陸曹　足立愁
長女　摩耶（まや）ちゃん

私のパパは、かっこいい自衛隊さんです。

いつも自衛隊さんの緑色の服でお仕事を頑張っています。たまに遠いところで、仕事したりして、おうちに帰ってこないときもあります。寂しいけど、たまに電話してくれるのでそのときは、うれしいです。

仕事から帰ってきても、掃除したり、ご飯作ったり、洗濯したり、私と遊んでくれたり、大忙しです。

休みの日は、いろんなところに連れて行ってくれます。私は、ＵＦＯキャッチャーが好きです。ママより私のほうがうまいです。でも、パパはもっとうまいです。もっと練習してパパより上手になりたいです。

この前、パパの自衛隊さんのお友達がたくさんうちに来てバーベキューをしました。とてもおいしかったし楽しかったです。

パパいつもありがとう、これからもお仕事頑張ってね。

部隊推進の原動力！第14施設隊のコンパスマン

KEYPERSON 14th Brigade

今回は、橋を架ける任務を担う第14施設隊に所属する
大河原3曹にスポットを当てていきます。

大河原３曹に聞きました！ どんな仕事をしてるの？

徳島県阿南市にある、陸上自衛隊・徳島駐屯地の第14施設隊に所属し、『架橋陸曹』として勤務しています。主な任務は、部隊が作戦地域へ安全に進入するため、施設隊が装備する『07式機動支援橋』を用いて河川や谷へ橋を架けています。

また、地震や水害等の各種災害においても施設隊の『架橋』技術で人や物資が通れる道を確保できるよう、自治体等と連携して防災訓練を重ね、「安全で早い橋づくり」ができるように日々技術を磨いています。

周りの方に聞きました！ 大河原３曹はどんな人？

明るく前向きで、小隊を引っ張ってくれる存在です。日頃の体力練成も欠かさず、部隊の体力の平均値の底上げに寄与してくれています。

架橋陸曹としても日々活躍してます。昨年度のレンジャー教育に参加し、無事帰還して部隊に活気を与えてくれました。責任感が強く、先輩隊員からは頼られ、後輩隊員からは慕われる、とても頼もしい隊員です。

第14施設隊　佐藤３尉

部隊 ▶ 第14施設隊（おおかわら　こうへい）
氏名 ▶ 大河原　光平
趣味 ▶ キャンプ（河川敷）
好きな歌手 ▶ Mr.Children
好きな食べ物 ▶ ラーメン（中華そば）
好きな川 ▶ 吉野川
好きなアウトドアブランド ▶ ogawa

【防災訓練における橋の架設】

大河原３曹の今後の目標は？

今後の目標は、小隊の更なる精強化を図ることです。そのために、自分自身の知識や技術を磨き続けるのはもちろん、後輩たちの育成にも力を入れていきたいと考えています。部隊全体としての結束力を強め、団結の核心となれるよう邁進していきます。

四国4県　イベントスケジュール

第１４旅団は、様々なイベントに装備品展示や音楽演奏などで参加しています！
皆様のご来場お待ちしております♪

6/7

松茂町 防災フェスティバル

マツシゲートで制服試着体験や装備品展示を行います

7/12

働く車イベント

高松イオン駐車場で制服試着体験や装備品展示を行います

7/19

第４９回 大道銀天街納涼市

鳴門市大道銀天街一円で装備品展示を行います

7/26

善通寺駐屯地 納涼行事

駐屯地を一般開放し各種アトラクション野外売店の出店などを予定しています！

7/26
7/27

第４７回 四国中央市 紙まつり

栄町にぎわい広場で制服試着体験や装備品展示を行います

7/27

きなはいや 伊方まつり

伊方町役場駐車場で制服試着体験や装備品展示を行います

8/2

高知駐屯地 納涼祭

駐屯地を一般開放し、各種アトラクション・野外売店の出店などを予定しています！

8/2
8/3

おんまく

本町商店街・美須賀コミュニティセンターで制服試着体験や装備品展示を行います

8/3

古代の南極の氷がやってくる

あすたむランド徳島で装備品展示を行います

8/9

松山駐屯地 納涼祭

駐屯地を一般開放し、各種アトラクション・野外売店の出店などを予定しています！

- 青：徳島県
- 緑：香川県
- オレンジ：愛媛県
- 赤：高知県

※　急遽変更となる場合がございます。ご了承ください。

HP

X

Facebook

１４りょだん 検　索

第１４旅団では、HP・X・Facebookにおいて活動状況を発信しています。
また、HPにおいては第１４旅団の紹介やイベント情報などを掲載しております。